

## 令和4年度第4四半期景況調査結果

### 1. 今期、来期の状況

商工会では管内50事業所を対象に景況調査を実施しています。

この調査は経営者へのヒアリングを通じて四半期ごとに売上高や仕入単価、採算等を産業別（製造業、建設業、小売業、サービス業）にDI値（※）により事業者の業況感を示すことで管内景気動向の参考とするものです。

※DI値とはDiffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で企業の業況感を指数化したものです。計算式は以下の通りです。 DI = 「増加」企業数 - 「減少」企業数 / 回答企業数 × 100

#### 建設業

|      | 今期の状況  |        |          |        |     | 来期の見通し |          |        |     |
|------|--------|--------|----------|--------|-----|--------|----------|--------|-----|
|      | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 |
| 売上高  | ▲33    | ▲16    | ▲42      | ▲50    | ▲8  | ▲42    | ▲33      | ▲42    | ▲9  |
| 資金繰り | ▲8     | ▲17    | ▲17      | ▲25    | ▲8  | ▲17    | ▲8       | ▲33    | ▲25 |
| 仕入単価 | ▲70    | ▲50    | ▲60      | ▲91    | ▲31 | ▲50    | ▲70      | ▲73    | ▲3  |
| 採算   | ▲25    | ▲25    | ▲25      | ▲33    | ▲8  | ▲25    | ▲17      | ▲50    | ▲33 |
| 従業員  | ▲17    | ▲9     | 0        | ▲11    | ▲11 | ▲18    | 9        | 0      | ▲9  |
| 外部人材 | ▲12    | ▲11    | 13       | ▲12    | ▲25 | 0      | 13       | 0      | ▲13 |
| 業況   | ▲33    | ▲4     | ▲25      | ▲33    | ▲8  | ▲17    | ▲17      | ▲33    | ▲16 |

#### 製造業

|      | 今期の状況  |        |          |        |     | 来期の見通し |          |        |     |
|------|--------|--------|----------|--------|-----|--------|----------|--------|-----|
|      | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 |
| 売上高  | ▲11    | 9      | 10       | 27     | 17  | 0      | 20       | 0      | ▲20 |
| 資金繰り | 22     | ▲9     | ▲10      | 9      | 19  | ▲9     | 0        | ▲27    | ▲27 |
| 仕入単価 | ▲56    | ▲70    | ▲78      | ▲64    | 14  | ▲70    | ▲78      | ▲73    | 5   |
| 採算   | ▲33    | ▲27    | ▲10      | ▲27    | ▲17 | ▲27    | 0        | ▲36    | ▲36 |
| 従業員  | 0      | 0      | 0        | 0      | 0   | 0      | 0        | 0      | 0   |
| 外部人材 | 0      | 0      | 0        | 12     | 12  | 0      | 0        | ▲12    | ▲12 |
| 業況   | ▲44    | ▲18    | ▲10      | ▲9     | 1   | ▲9     | 0        | ▲45    | ▲45 |

#### 小売業

|      | 今期の状況  |        |          |        |     | 来期の見通し |          |        |     |
|------|--------|--------|----------|--------|-----|--------|----------|--------|-----|
|      | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 |
| 売上高  | ▲9     | 8      | ▲8       | 0      | 8   | 0      | ▲42      | 17     | 59  |
| 資金繰り | ▲18    | ▲33    | ▲42      | ▲8     | 34  | ▲33    | ▲33      | ▲8     | 25  |
| 仕入単価 | ▲36    | ▲73    | ▲91      | ▲100   | ▲9  | ▲82    | ▲91      | ▲82    | 9   |
| 採算   | ▲36    | ▲33    | ▲50      | ▲58    | ▲8  | ▲42    | ▲50      | ▲42    | 8   |
| 従業員  | 0      | 0      | 0        | 0      | 0   | 0      | 9        | 0      | ▲9  |
| 外部人材 | 0      | 0      | 0        | 0      | 0   | 0      | 0        | 0      | 0   |
| 業況   | ▲27    | ▲42    | ▲33      | ▲25    | 8   | ▲42    | ▲25      | 9      | 34  |

#### サービス業

|      | 今期の状況  |        |          |        |     | 来期の見通し |          |        |     |
|------|--------|--------|----------|--------|-----|--------|----------|--------|-----|
|      | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 | 前期比 |
| 売上高  | ▲18    | 0      | ▲33      | ▲8     | 25  | ▲27    | ▲50      | ▲15    | 35  |
| 資金繰り | ▲9     | ▲9     | ▲25      | ▲23    | 2   | ▲18    | ▲42      | ▲15    | 27  |
| 仕入単価 | ▲73    | ▲82    | ▲92      | ▲92    | 0   | ▲64    | ▲75      | ▲77    | ▲2  |
| 採算   | ▲18    | ▲45    | ▲33      | ▲23    | 10  | ▲36    | ▲25      | ▲23    | 2   |
| 従業員  | 9      | ▲9     | ▲9       | ▲15    | ▲6  | ▲18    | ▲9       | ▲8     | 1   |
| 外部人材 | 0      | ▲13    | 0        | 0      | 0   | ▲13    | 0        | 0      | 0   |
| 業況   | ▲36    | ▲45    | ▲33      | ▲23    | 10  | ▲36    | ▲33      | ▲23    | 10  |

#### 【所感】

「売上高」は、今期（1-3月期）は建設業以外の業種では改善しています。建設業の不振は主に季節要因によるものと思われます。来期（4-6月期）は小売・サービス業で改善、建設・製造業は悪化を見込んでいます。

「資金繰り」は、製造業以外でマイナス基調にありますが、小売業では改善傾向にあります。来期は、小売・サービス業が改善、建設・製造業で悪化を見込んでいます。

「仕入単価」は、建設・小売業で悪化、サービス業で現状維持、製造業では改善しています。来期は製造・小売業で改善、建設・サービス業では引き続き厳しい予想となっています。

「採算」は、サービス業で改善、その他の業種で悪化しました。仕入単価やコスト高が価格に転嫁できていない結果と思われます。来期は小売・サービス業では改善、建設・製造業では悪化を見込んでいます。

「従業員・外部人材」は製造業が改善、小売業が±0、サービス業・建設業では悪化しています。来期見通しもサービス業以外で悪化傾向にあります。

「業況」は、全業種がマイナス基調にありながらも、建設業以外で改善しました。来期は小売・サービス業では改善、建設・製造業で悪化の見込みです。

総じて一部回復した項目があるものの、長引く物価高や消費者の節約志向の影響により来期の見通しに不安が残る結果となりました。

## 2. 設備投資

|               | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 |
|---------------|--------|--------|----------|--------|
| 今期設備投資を実施した   | 5%     | 0%     | 16%      | 6%     |
| 実施していない       | 95%    | 100%   | 84%      | 94%    |
| 来期設備投資を予定している | 2%     | 2%     | 8%       | 8%     |
| 予定していない       | 98%    | 98%    | 92%      | 92%    |

今期は概ね前期の予定通りに設備投資が実施されたという結果になりました。  
 当期設備投資の内訳は車両運搬具、OA機器、その他となっています。  
 来期の設備投資予定の内訳は車両運搬具、工場建物、その他となっています。

## 3. 経営上の問題点

|                  | R4.4-6 | R4.7-9 | R4.10-12 | R5.1-3 |
|------------------|--------|--------|----------|--------|
| 原材料価格の上昇         |        | 29     | 30       | 31     |
| 原材料費、人件費以外の経費の増加 | 7      | 12     | 14       | 15     |
| ニーズの変化への対応       | 7      | 4      | 8        | 7      |
| 需要の停滞            | 8      | 9      | 7        | 10     |
| 生産設備の不足、老朽化      | 7      | 3      | 5        | 4      |
| 従業員の確保難          | 2      | 5      | 4        | 3      |
| 人件費の増加           | 3      | 7      | 4        | 3      |
| 製品(加工)単価の低下、上昇難  | 1      | 5      | 3        | 1      |
| 大企業の進出による競争の悪化   |        |        | 2        | 3      |
| 熟練技術者の確保難        | 1      | 1      | 2        | 1      |
| 新規参入業者の増加        | 1      |        | 1        | 1      |
| 原材料の不足           | 4      |        | 1        |        |
| 金利負担の増加          | 4      |        | 1        | 1      |
| 事業資金の借入難         | 3      | 2      | 1        | 1      |
| 取引条件の悪化          | 3      |        |          | 1      |
| その他              | 2      | 5      | 5        | 3      |

前期に続き「原材料価格の上昇」、「原材料費、人件費以外の経費の増加」等経費の増加に関する事項が多く挙げられています。その後「ニーズの変化への対応」、「需要の停滞」等ニーズに関する事項が続きます。  
 また、「従業員の確保難」、「人件費の増加」、「熟練技術者の確保難」等雇用に関する事項も多くなっています。

## 4. 自由記述

- ・売上が減少し、仕入単価はどんどん上昇し、非常に厳しい状況である。（建設業）
- ・1-2月はお年玉企画なども行い、売上が伸びたが今後ネット販売において需要を増やすための工夫について考えている。広告を掲示すると一時購入者が増加するが、続くかどうか不安がある。（製造業）
- ・売上は若干上がっているが、仕入れ価格（中には3割）の上昇と燃料の高騰で粗利が悪い。卒業式の祝賀会等は復活してきたが、葬儀関連が変わらず簡略化で売上が低くコロナの営業が長引いている。（小売業）
- ・コロナが落ち着いて飲食業が今まで通りになれば良いなあと思うが、色々な食品の値上がりや、光熱費の高騰もあり、嗜好品の買い控えになるのではと心配している。（小売業）
- ・ネットや大型店の売値が当店の仕入れ値より安いのをみると絶望的になる。（小売業）
- ・県主催のイベントで入賞したことで商品PRを活発に行うことができている。県外客からの注文が増えていることが効果として感じている。その様な中、材料費等の高騰には大きな影響を受けている。（小売業）
- ・牛乳等の卸先が減少してきている。時世により仕方がない部分もあるが、なかなか厳しい状況。（小売業）
- ・経費節減を心がけている。固定客がありがたく、この先も大事にしていきたいと思う。（サービス業）
- ・物価高騰の影響を大きく受けている。（サービス業）
- ・仕入価格や光熱費等の高騰により、現在の提供価格ではやりくり出来ず悩み所である。（サービス業）
- ・国や県のキャンペーンが縮小、終了したことにより、旅行客が減少した。コロナ前より厳しくなる予想である。（サービス業）
- ・諸々の値上がりにより、仕入額が上昇し大変である。昨年10月に宿泊代を値上げしたので何とかなっているが、今後は厳しいと思う。コロナが再拡大しない事を願うばかりである。（サービス業）

- ・コロナは落ち着きつつあるが、人の流れはまだ戻っていないため、売上が落ちている。イベントなど、にぎわいが戻り、活性化することを望んでいる。（サービス業）
- ・物価高に加え、高齢化で顧客が減少し先行きが不安である。（サービス業）

## 5. コメント

### （全国の動向）

1月期の産業全体の業況は、年末年始のイベント需要が落ち着き、全DIが大幅に悪化となりました。

特に全業種で採算DIが大幅に悪化しており、価格転嫁が追い付かず、コスト高騰が経営を圧迫している状況です。

また、物価高騰による消費者の節約志向の影響や、今後の見通しへの不安感と、後継者不足や代表者の高齢化とあいまって

廃業を選択する事業者も多いとのコメントが見られました。

全国版の調査結果については秋田県商工会連合会HP（<https://www.skr-akita.or.jp/>）からご確認ください。

### （管内の動向）

一部の業種で改善の兆しが見られたものの、今期売上が増加した事業所であっても来期見込みは悪化との回答があり、厳しい経営状況の中で一進一退の状況が伺えます。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行となり、外出自粛措置等は廃止となります。

事業者からはイベントや行事の再開を希望するコメントが寄せられました。

厳しい経営状況が続く今だからこそ、中長期経営計画を策定し、足腰の強い経営体制の構築を目指しましょう。